

令和 4 年度 農山漁村振興交付金（山村活性化対策）
事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和 4 年度に実施された農山漁村振興交付金（山村活性化対策）の事業について、「農山漁村振興交付金（山村活性化対策）実施要領」（平成30年 3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知）の第9の1の（1）の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
和歌山県	白浜町	SDGsによる白浜町 地域未来創造協議会	●	●	□	A	令和4年度の取組は、新商品数、売上、雇用者数の全ての項目で目標を達成しており、大きな遅延や未達もなく良好である。6次化商品が完成し、売上につながったことで、次年度における現地法人の設立や、売上額と雇用者数の目標達成が可能となったと考える。

（注1）「事業実施段階」の凡例：○・交付対象年度（計画） ●・交付対象年度（実施済） □・目標年度（計画） ■・目標年度（実施済）

（注2）「評価」の区分：A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）実施要領の第9の1の（1）の規定に基づき、第三者である中村 允から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

和歌山県工業技術センター 食品開発部 加工技術担当 主任研究員 中村 允

【意見聴取の概要】

地域資源の基本調査にて白浜町内の農家・林業関係者・山主・地元産業従事者などへ聞き取り調査を行ったことで、和歌山の名産でもある南高梅、川添茶、椿油、富田の水など貴重な資源の存在を白浜町内で確認した。ナチュラル化粧品開発で評価の高い鹿児島県のポタニカルファクトリー社や和歌山県工業技術センターのアドバイスを得て、これら山村資源で未活用なものを原材料としたナチュラル化粧品5品を開発し、うち4品の商品化に至った。また、販促を進めるため、2023年2月に東京ビッグサイトで開催されたギフトショーの山の恵みマッチングに出展し、バイヤーから好評を得ており、地元新聞紙の紀伊民報にも取り上げられた。マーケティング施策として、日本の和のテイストを前面に表現した商品パッケージのデザインや、情報発信（専用SNS・YouTube・ホームページ運営）も進められていることから、来年度以降白浜町内外での販路拡大及び売上の目標達成に大いに期待が持てる。